



小中一貫校 南アルプス市立白根巨摩中学校

伝統からの創造

第 11 号

令和6年12月5日(木)

～思いやりの心と主体性・創造性を備えた巨摩中生の育成～

今回は、私が読む度に、本当に大事なことは何か…考えさせられ、心が正される詩を紹介します。

「もし子育てをやり直せるなら」

もし、子育てをやり直せるなら、家よりもまず、子供の自尊心を築き上げます。

間違いを直そうとばかりしないで、子供ともっと心を通わせます。

時間ばかり気にしないで、子供の成長を見つめます。

知識ばかり詰め込もうとしないで、心を思いやりでいっぱいにします。

もっとハイキングに行って、広い野原で、子供と一緒にたこあげをします。

深刻ぶるのはやめて、子供と夢中になって遊びます。

意地を張らないで、子供をもっと抱きしめます。

目先のことだけにとらわれないで、もっと長い目で子供を育てるようにします。

うるさいことばかり言わないで、もっと子供をほめてあげます。

そして、成功や権力を追い求めるのではなく、愛の力のすばらしさを子供に伝えます。

by ダイアン・ルーマンズ

第71回 校内強歩大会

11月12日(火)に校内強歩大会を実施しました。体育の時間では、体育科の先生方がペース走に加え、体調の整え方や道を走る上での注意点等を丁寧に繰り返し、指導してきました。練習では、日に日に仲間を応援する声が大きくなり、見ただけで胸に込み上げてくるものがありました。

迎えた本番。晴天に恵まれ、女子が9時30分に、15分後に男子がスタート。スタートした全員が13.5km(短コースは6.7km)を、大きなけがもなく無事に時間内に完走できたことが、何よりもうれしいです！スタートからゴールまで、気持ちよく走り切れた人ばかりではないはずですが、途中で諦めかけた人もいたでしょう。もう嫌だと投げ出したくなった人もいたでしょう。足が痛く止まった人もいたでしょう。苦しいと何度も弱音を吐いた人もいたでしょう。ですが次の瞬間には、前を向き、一步を踏み出したあなたたち。周回しながらそうした姿に触れ、胸が熱くなりました。仲間や保護者、地域の方の応援があったからかもしれません。自分で自分を奮い起したのかもしれない。ただ足が前へ進んだのかもしれない。いずれにしても、一度スタートした道のりを、自分の足でしっかり走り切



った事実は、自信となり、これからのあなたを支える力となるはずです。本当に、よくがんばりました。

また、今回の強歩大会は、保護者、安協、交通委員、警察、地域の方々等、総勢 130 名を超える皆様に支えて頂きました。快く役割を引き受け、自主的に仕事をしてくださったおかげで、無事に大会を終えることができました。事前打ち合わせに始まり、当日準備や運営等、本当に有り難うございました。地域の子どもは地域で育てる、という白根地区の方々の思いをひしひしと感じました。

なお、協力者よりご提出頂きましたアンケートの中で一番多かったご意見です。

- ・保護者の応援に「こんにちは」「ありがとうございます」と返答してくれ、うれしかったです、
- ・声援を送ると「有り難うございます」や元気よく「はい」と返事してくれたので、うれしかったです。長距離で体力的にもつらく大変だと思うけど、みんなよくがんばって走っていました。

こういう中学生の清々しい言動は、地域を元気にしますね。他にも多くのご意見を頂きました。来年度に生かして参ります。ご協力、ありがとうございました。

小中合同合唱交流会



11月15日(金)、白根東小学校と白根飯野小学校の6年生を巨摩中に招待し、合唱を披露し合ったり、一緒に「翼をください」を歌ったりしました。小中一貫校として、中学生が小学校へ出向き、あいさつ運動を行ったり、桃響祭の演劇を小学生が参観したり、小学校陸上記録会にむけ、陸上部が指導に行ったり、様々な取組を連携して行っています。その一貫として、今回は合唱を通して交流を深めました。元気よく歌う6年生を見て、4月からの生活が楽しみになりました。一方で、6年生にとっても、中学校生活に期待が持てる時間になってもらえたら幸いです。

1月28日(火)には、新入生説明会を実施します。今年度は、6年生に全学年の授業も見てもらおう予定です。春からの生活をイメージして、この冬、力を蓄えていきましょう。

「他人がポイッと捨てた運を拾っている」

「運をつけるためにしていることは？」という問いに、大谷翔平はこう発言。

試合中に度々フィールドに落ちているゴミを拾う姿が見られますが、落ちているゴミを拾わず通り過ぎようとすると、ゴミから「お前、それでいいのか？」と呼ばれているような錯覚に陥るのだ、とか。他にも運を引き寄せる具体策として、「部屋そうじ」「あいさつ」「審判さんへの態度」「プラス思考」「本を読む」といったことを、高校時代に作成した「目標達成シート」の中で書いています。一見、野球とは直接関係ないようなことのように思いますが、徹底して行ってきたそうです。そうした心構え、思考、そして行動力こそが大谷翔平を世界一へと導いているのではないのでしょうか。そして、こういう人だからこそ、世界中から応援され、称賛されるのだと、しみじみ感じるのは、私だけではないはずです。

(文責:教頭)